

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	
園名	こどもヶ丘保育園野方園

1. 活動テーマ

【テーマ】

音を楽しむ(1歳児)

【テーマの設定理由】

- ・ 戸外で木の枝を使って音を鳴らして楽しむ姿があった。
- ・ リトミックで音を聞きながら、体を動かすことが好き。
- ・ 小さな音に気が付き、伝えようとする姿が多い。

2. 活動スケジュール

<鳴らす>

- ①楽器(鈴、マラカス)を鳴らして音の違いを楽しむ。
- ②プラスチックケースに自然物を入れ、音の違いを楽しむ。
- ③ドングリを使ってマラカス作りをする。
- ④音楽に合わせて、楽器を選びながら音を鳴らすことを楽しむ。

<たたく>

- ①木の枝で様々なものを叩いて、音の違いを楽しむ。
- ②身近なもの(ダンボール等)を叩いて音の違いを楽しむ。
- ③音楽に合わせて、色んなものをたたいて楽しむ。

<音に耳を澄ます>

- ・ 日々の中での様々な音に気が付き、静かに耳を澄ます。

3, 探究活動の実践

【活動の内容】 10月 15日（水）～ 2月 20日（金）

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<鳴らす>

- ・プラスチックケース、ドングリ、鈴、マラカス

<叩く>

- ・手作りのバチ、ダンボール、たらい、プラスチックケース、ペットボトル、太鼓、トライアングル、一斗缶

- ・活動の内容

<戸外>

- ・木の枝で色んなものをたたいて音の違いを感じる。
- ・様々な自然物をプラスチックケースに入れて音を鳴らす。
- ・周りの音に静かに耳を澄ます。

<室内>

- ・食事の音、水道の音等、身近な音に耳を澄ます。
- ・身近な物を叩いて音の違いを感じる。
- ・ドングリでマラカス作りをする。
- ・様々な楽器を用意し、好きなものを選んで音を鳴らす。
- ・音楽に合わせて好きな音を鳴らす。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・木の枝を使って音を鳴らしてみせると、自分から木の枝を拾い、木の幹、鉄柵、鉄棒、石等音が違うところを自ら見つけ、音の変化を楽しむ姿があった。また、ひとりの子が“こする”音が違うことに気付き、それを見た周りの子も“こする”音の違いを楽しむ。

・木々のざわめきに「これは何の音だろう」と問いかけると、周りを見渡し「はっばだ！」と気付く姿があった。また、「おとがする！」と鳥の声、遠くの車の音に気が付き知らせる姿があった。

・楽器を選びながら曲に合わせて、音を鳴らす、をくりかえしていくうちに、リズムに合わせる⇒強弱をつける⇒曲調に合わせて鳴らすものを変えてみるといった変化が少しずつ見られた。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

- ・音に気付いた子どもの発信を保育者が受け止め、応える、という繰り返りから、子どもの中に情報が蓄積されていくのを感じた。
- ・音を自分で鳴らし、聞くを繰り返していくうちに、音楽の曲調に合う楽器を自ら選び、強弱をつけながら、リズムに合わせて鳴らすということを自然と行って驚いた。子どもの世界の豊かさを感じた。
- ・音に耳を澄まし、静かに聞く、それを楽しむ、と言うことは心が波立ってはいないのではないか。日頃より保育者は心の安全基地となり、安心して過ごせる環境作りが子どもの探求心を育てていく基礎となるのではないかと思う。



